

# 国際公募 第10回国際墨画会展

社団法人国際墨画会（会長 香取妙子氏）は、第10回国際公募墨画会展（主催 一般社団法人国際墨画会 後援 外務省、文化庁、国立中国美術学院、中国西冷社他）を平成22年6月23日（水）～7月5日（月）午前10時～午後6時まで、東京都港区六本木の国立新美術館2階2Bにて開催する。入場料無料。6月29日（火）は休館の為お休

み。

国際墨画会は日本及び諸外国へ水墨画の普及を促進し、水墨画を通じた国際文化交流を図ることを目的に活動を行っている団体。日本を始め中国、台湾、シンガポール、マレーシア、オーストラリア、アフリカにまで事務局を置く。

同会が毎年主催する国際墨画会展は、日本、中国、台湾、シンガポール、マレーシア、韓国で活躍中の作家作品及び同地域からの公募入選作品を展示する。本年も日本及び諸外国から全150点の作品が出品される。同展開催中には無料水墨画体験コーナーも設置されるという。国際墨画会の香取会長は「水墨画はアジアを代表する文化であり芸術。誰でも筆1本あれば気軽に水墨画を楽しめます。例えばこれから暑中見舞いの季節などハガキの裏にちょっとした水墨画が書けば印象が強いオリジナルな暑中見舞いが作れます

よ」と話す。最近では海外赴任するビジネスマンなど日本文化の表現として水墨画を習い、海外で親睦の役に立ったなどの効用もあるという。国際墨画会では現在、都内や金沢などで水墨画教室を開講しているが、特に若い女性の水墨画学習意欲が顕著だという。また一定期間、水墨画教室でのカリキュラムを履修すれば、同会認定の水墨画講師として、世界で活躍する道も開ける（香取会長）とも言う。

国際墨画会ではこれまでも民間文化大使として世界各国で水墨画の普及に努めてきた。2004年ベトナムホーチミン市での『日越観光文化祭』での招待参加を始めとして、『日本芸術祭 エストニア展』『日本芸術祭 リトアニア展』『日本芸術祭 スロバキア展』『日本芸術祭 アイルランド展』『モロッコ芸術祭』『日本芸術祭 ポーランド展』『国際墨画会 中国展』など欧州、アフリカなどへ



も着実に文化交流実績を築いている。

まずは、身近なところで水墨画のタッチの繊細さ、毛筆文化

の魅力を目で見て、水墨画の魅力を感じるところから始めてみてはどうだろう。

お問い合わせ

国際墨画会 HP /<http://bokuga.org/>

